



ゆかり通信

VOL.341

令和 8 年 6 月

SENSHOJI
YUKARI NEWSLETTER
1994-2026

北海道千歳市清水町1-14 鶴賣山 千正寺

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2026年千正寺カレンダー 6月の言葉(しょうよくちそく2)

少微知足

浄土真宗の宗門大学は京都にある龍谷大学です。私はその龍谷大学で4年間学び京都で一人暮らしをしていました。京都での生活で驚いたことの一つに多くの私鉄があって運賃が安いことでした。北海道はJRか、あっても市電ですが京都はJR・京阪・阪急・近鉄・市の地下鉄と、とても利便性が良かったです。よく利用していたのは京阪電車で、京都と大阪を結ぶ線で、京都の東側を南北に走る電車です。四条の繁華街に駅もあり、伏見稲荷神社や清水寺に行くのにも便利な電車です。



↑ 京都・龍安寺のつくばい

私が好きだった電車は京福嵐山線でチンチン電車のように住宅街の中を静かに走る電車です。四条大宮から嵐山を結び途中、帷子ノ辻(かたびらのつじ)で乗り換えると北野白梅町まで行け、京都の西北を走る電車になります。

この度は京福線のおすすめ観光地をご紹介します。

一つ目は、太秦広隆寺(うずまさこうりゅうじ)。京都は現在インバウンドの方々が多く有名な観光地はどこも人であふれていますが、広隆寺はそれほどでもないと思います。駅を降りるとすぐに山門があり中は静かな佇まいです。ここには彫刻部門国宝第1号の「弥勒菩薩半跏思惟像」があり、一見の価値があります。

二つ目は「東映太秦映画村」。広隆寺の近くにあり、時代劇に使われる町並みが再現されていて、うまくいけば撮影現場や芸能人にも会えることがあります。子どもやご年配の方にも喜ばれる場所だと思います。ここも比較的混雑していません。一つ残念なことは入村料がお高めなところではあります。

三つ目は「仁和寺・妙心寺・龍安寺」の古刹のお寺巡りです。ここも静かな佇まいで、ゆっくりと落ち着いて拝観できるお寺です。写真の「つくばい」※は、龍安寺の茶室「蔵六庵」(ぞろくあん)(蔵六とは亀を意味しているそうです)にあり、徳川 光圀公の寄贈と言うことです。光圀公は水戸黄門のモデルになったお方のような方です。銭形の模様がある「つくばい」には、「吾唯足知」{われただたるをしる}の四文字を図案化して彫られています。今月の言葉と同じような意味の言葉なので紹介させて頂きました。龍安寺茶室の拝観は、予約制のようですのでご注意ください。

京都に行かれるご予約のある方は、一日でなんとか回れるコースだと思いますので、ぜひ東福嵐山線を利用して静かな京都をご堪能下さい。私も息子が今、龍谷大学二年生なので会いに行きがてら、ゆっくりと京都を観光したいと思っています。

※「つくばい」・・・茶室の庭(露地)に設置される、手や口を清めるための低い位置にある「手水鉢(ちょうずばち)」のこと

(本文:鹿谷賢純法務員)